

令和元年度 中央区地域包括支援センター 運営協議会 公開議事録

1. 日 時 令和元年7月18日(木) 午後1時30分～午後3時

2. 場 所 中央区役所 3階A会議室

3. 議 題

- (1) 平成30年度中央区内地域包括支援センターの運営状況
 - ① 各センターの月別報告書
 - ② 地域ケア会議について
 - ③ 地域包括支援センター連絡会等の実施状況
- (2) 令和元年度あんしんすこやかセンター事業計画について
- (3) 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取扱いについて
- (4) 令和2年度地域包括支援センター公募について
- (5) 特定事業所へのサービス集中率について
- (6) 地域包括ケア充実のための事業目標について

4. 当日出された主な意見・質問と事務局回答(要旨)

(1) 平成30年度中央区内地域包括支援センターの運営状況

- ① 各センターの月別報告書
 - ② 地域ケア会議について
 - ③ 地域包括支援センター連絡会等の実施状況
- 実績報告書で認定申請件数が減少しているのは、総合事業が始まったからか、又は他の理由があるのか。

【事務局】高齢者数の増加が著しい地域では認定申請件数が増加しており、介護認定の有効期間が延長していること、また現状では介護サービスは不要だが将来に備えるための申請が減ったのが要因ではないかと考えている。

- 地域支え合い活動推進事業の中の小地域支え合い連絡会だが、大規模な集合住宅では区社会福祉協議会が地域の支援者連絡会を開催しているので、その数がかかり計上されていると思う。この事業自体は今後終息の方向だが、事業終息後、地域の支え合いに対する、地域包括支援センターの活動に対する行政の方針があれば共有したい。

【事務局】現在、小地域支え合い連絡会によりしっかりできている連携が連絡会をなくすことによってなくなってしまうのは問題だと思っており、地域ケア会議等違う方法を模索しなくてはいけないと思っている。しかし、会議も多くなっているので、必要性を考慮した上で、開催について検討したい。

- (2) 令和元年度あんしんすこやかセンター事業計画について
- (3) 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取扱いについて

(4) 令和2年度地域包括支援センター公募について

- 圏域が変更になることはないか。

【事務局】圏域については、今までの実績や地域との関係性を大切にしたいと考えるが、状況によっては変更も検討すると聞いている。

- 全体として働き方改革がすすめられている中で、地域包括支援センターの業務は多岐にわたり、提出書類も多いと感じている。もう少し時間的な余裕をもって対応できる体制が必要だと思うが、地域包括支援センターの労働環境に関する行政の認識はどうか。

【事務局】法人に委託をしているので、労働条件は法人によって差があると思う。時間外対応の件数を減らす試みは各地域包括支援センターでしているが、個別の相談件数が増加しているので業務量を減らすのは難しい。そのため市

としては、人件費に充てることのできるよう委託料を増やす等の対応を行ってきた。ご意見は市の方にも報告を上げたい。

- 時間外相談がいつも問題になっているが、具体的に時間外相談に該当するのは何か。
【事務局】 緊急の案件が該当するが、実態としては、家族の都合がつかない等の理由で平時の対応を時間外に行っていることもあると思う。時間外については、平日と同じように相談を受けられる体制ではないということを利用者には案内している。
- 業務の内容等、現在の委託先が継続して事業を実施できるよう、健全に運営できるような、公募しやすい用件になるようお願いしたい。
【事務局】 地域包括支援センターの業務は多岐に渡り、支援力のいる仕事。継続して勤務をしてもらうために、法人に協力いただいて体制について考えていきたい。

その他意見

- 地域包括支援センターの業務を行う上で、複数人での訪問が必要となることがあるが、ぎりぎりの職員数しかおらず、毎回複数で訪問するわけにはいかない。そういう時に市と連携をして一緒に訪問をする等の体制があれば良いと思う。
【事務局】 市でも検討するよう意見を伝える。
- 神戸市の中で中央区は唯一人口が増えている区である。現在は中央区のように便利な市街地に人口が集中する現象が起こっているのではないか。しかし、中央区は坂が多く外出がしにくい等、地勢的に高齢者が住みにくい状況があると思う。地域ケアを考える上で今後の方向性はどうか。
【事務局】 神戸市の中で中央区だけが人口が増えている。タワーマンションの建設や外国籍の方の増加が要因となっている。外国籍の方については、現在は子どもについての問題が中心だが、いずれ高齢者の問題も出てくるのでまちづくり全体として考えないといけないと思っている。特に中央区の北部エリアは東西よりも南北の移動に課題があり、交通機関や坂の問題により外出がしにくい状況になっているので、地域バスの運行等も現在試験的にしている。まちづくり全体の中でハードとソフト両面から高齢者が住みやすい環境づくりを考えないといけないと思っている。
- 中央区は高齢者独居率が高い。特に男性だが、現場でも孤立している人をよく見かける。高齢になってから対応しようと思っても難しいので、若いうちから社会参加を促す対応した方が良いと思う。
【区社会福祉協議会】 社会的孤立の問題にネットワーク事業で取り組んでいる。子どもの頃から問題の芽があることが多いので、65歳になってから急に対応する問題ではないと思っている。生涯を見据えた対応を考えていかないといけないと思っており、それを啓発する必要があると思う。